vinetur

Wine Spectator、2026年の年間トップワインにChâteau Giscours Margaux 2022を選出

Château Giscours Margaux 2022が95点、68ドルでWine Spectatorのトップ100首位に。これを上回る得点のワインも複数ランクインした。

2026年11月16日（月）



11月16日月曜日、Wine Spectatorは「2026年トップ100ワイン」を発表し、世界市場で最も注目に値すると同誌が考えるワインを選ぶ年次ランキングの首位に、Château Giscours Margaux 2022を選出した。

ワイン業界で最も注目を集めるランキングの一つだが、点数だけで順位が決まるわけではない。Wine Spectatorによると、編集者は過去12カ月に試飲したワインの中から、品質、価格に見合う価値、米国での入手しやすさ、そしてワインが話題を呼ぶ力を指す「X-Factor（Xファクター）」の4要素を考慮して選ぶ。ランキング掲載には、90点以上の評価が必要となる。

2026年のランキング上位には、この選定方針が表れている。首位のChâteau Giscours Margaux 2022は95点、希望小売価格68ドルで、順位が下のワインの中にはこれを上回る得点のものも複数あった。2位はAubert Chardonnay Sonoma Coast UV-SL Vineyard 2023で、96点、100ドル。3位はRidge Lytton Springs Dry Creek Valley 2023で、95点、56ドルだった。Williams Selyem Pinot Noir Russian River Valley Eastside Road Neighbors 2023は96点、72ドルで4位、Château Beau-Séjour Bécot St.-Emilion 2022は96点、85ドルで5位に入った。

トップ10の残りにも、このランキングを特徴づける名声、産地、価格の幅広さが表れた。チリのClos Apalta 2021は96点、170ドルで6位。Produttori del Barbaresco Barbaresco 2021は94点、57ドルで7位だった。Wayfarer Pinot Noir Fort Ross-Seaview Wayfarer Vineyard The Estate 2023は95点、100ドルで8位、Castello di Ama Chianti Classico San Lorenzo Gran Selezione 2021は95点、90ドルで9位。Famille Isabel Ferrando Châteauneuf-du-Pape St.-Préfert 2022が94点、108ドルで10位となり、トップ10を締めくくった。

トップ10で最も存在感を示したのはカリフォルニアで、Aubert、Ridge、Williams Selyem、Wayfarerが上位に入った。フランスは首位のワインを含む3銘柄、イタリアは2銘柄、チリは1銘柄がトップ10にランクインした。

トップ100全体を見ると、Wine Spectatorが知名度だけでなく、幅広さも重視していることが改めて分かる。97点を獲得しながらトップ10圏外となったワインもあり、Bedrock Vineyard Heritage Sonoma Valley 2023は60ドルで12位、Castello di Monsanto Chianti Classico San Donato in Poggio Il Poggio Gran Selezione 2020は85ドルで45位、Château Smith-Haut-Lafitte Pessac-Léognan Blanc 2022は169ドルで85位だった。こうした順位は、このランキングが最高得点のワインだけでなく、市場への影響力や消費者への訴求力を示すことを目的としている点を裏付けている。

トップ100全体では、特にトスカーナとピエモンテを中心にイタリア勢が数多く選ばれた。9位のCastello di Ama、7位のProduttori del Barbarescoに加え、Viticcio Chianti Classico Riserva 2019が14位、Ruffino Chianti Classico Ducale Riserva 2021が17位、Camigliano Brunello di Montalcino 2020が21位、Il Poggione Brunello di Montalcino Vigna Paganelli Riserva 2019が52位、Damilano Barolo Cannubi 2021が55位に入った。そのほか、タウラージやエトナ・ロザートからプロセッコ、ヴェルメンティーノまで、多彩なイタリアワインが選ばれた。

米国勢も、上位のカリフォルニアワイン以外に幅広くランクインした。オレゴン州からはCristom、Lingua Franca、Penner-Ash、Ken Wright、Stollerのピノ・ノワールが複数選ばれた。ワシントン州からはReynvaan’s Syrah Walla Walla Valley In The Rocks 2022が89位に入った。ニューヨーク州からはRavines Riesling Finger Lakes Dry 2022が36位にランクイン。カリフォルニア州のワ

インも、ナパ・ヴァレーのカベルネ・ソーヴィニヨンやソノマ・コーストのシャルドネから、サンタバーバラ郡のGSM、クラークスバーグのシュナン・ブランまで、幅広いスタイルと産地にわたった。

フランス勢はボルドー以外にも広がった。ランキングには、Le Vieux Donjon、Famille Isabel Ferrando、Domaine de la Vieille Juliane、Bois de Boursanのシャトーヌフ・デュ・パプ、Château de Saint-Cosmeのジゴンダス、Claude Riffaultのサンセール、Famille Lieubeauのミュスカデ、Clos Ste.-Magdeleineのカシス、Domaine du Closelの白のサヴニエールが含まれた。シャンパーニュではPloyez-Jacquemart Extra Quality Brut NVが38位に入った。

スペイン、ポルトガル、アルゼンチン、チリ、オーストラリア、ニュージーランド、オーストリア、南アフリカのワインも選ばれた。スペインからはリオハ、リベラ・デル・ドゥエロ、カンポ・デ・ボルハ、シエラ・デ・グレドスのワインがランクイン。ポルトガル勢には、Graham’s 20 Year Old Tawny Port NVが57位、Symington Family’s Altano Douro 2022が48位で入った。アルゼンチンからはBodega Catena Zapata、Zuccardi、Lamadrid、Cheval des Andesのワインが選ばれた。ニュージーランドからはソーヴィニヨン・ブランとピノ・グリがランクインし、オーストリアからはBernhard Ott Grüner Veltliner Niederösterreich Fass 4 2023が94位に入った。

ランキングには、高級ワインと、より手に取りやすい価格帯のワインが並んだ。価格の低い銘柄には、Symington Family’s Altano Douro 2022（13ドル）、Castello Banfi Toscana Centine 2022（15ドル）、Pine Ridge Chenin Blanc-Viognier California 2024（16ドル）、Marisco The Ned Pinot Gris Marlborough 2024（17ドル）がある。一方、価格帯の上位には、Freemark Abbey Cabernet Sauvignon Rutherford Cabernet Bosché 2022（100位、225ドル）、Clos Apalta 2021（6位、170ドル）、Château Smith-Haut-Lafitte Pessac-Léognan Blanc 2022（85位、169ドル）が入った。

Wine Spectatorによると、2026年のランキングは大規模な試飲をもとに作成された。同誌は新たにリリースされたワインを10,900銘柄以上試飲し、そのうち7,295銘柄に90点以上を付け、2,889のワイナリーを審査し、787のアペラシオンを取り上げた。同誌は1988年から毎年、トップ100のランキングを発表している。

ランキングの全容はWine Spectatorの「トップ100」ウェブサイトで公開されている。選出銘柄の詳細な紹介は、12月2日に店頭発売予定の同誌12月31日号に掲載される。